



II. 具体的事例

市場化テストへの取り組みについて

海外での事例

市場化テストは前述のとおり、諸外国で既に取り組みされており、下記はその一例です。

インディアナポリス市（米国）の例

実施領域	落札者	受注者の概要
下水道処理施設運営	民	大手下水処理企業など5社が入札に参加。
ごみ収集	官・民	市内を11区に区分。 うち1区は市直轄運営地区とし、残り10区につき入札を実施。
市道維持補修	官	市の公共事業部門が落札。
ゴルフコース 運営	民	プロゴルファーの団体が落札。
車両保守・維持	官	米国最大規模の車両維持サービス企業が3社も参加した入札で、市の担当部局が落札。
建物管理 (警察、消防、刑務所、オフィス等)	官	民間のビル管理業者との競争入札の結果、郡ビル管理公団が落札。

オーストラリア（連邦政府）の例

実施領域	落札者	受注者の概要
失業者の状況に応じた相談や訓練等のサービスの提供 (雇用サービス規制局)	民(42%) NPO(52%) 官(6%)	官(6%)の落札者は、州・地方政府等。
連邦空港の建築及び環境保全 に対して、空港法で義務付けられた規制及び監視業務(運輸省)	民	21の空港毎に中小企業から大企業まで様々な企業が落札。
バックオフィス、庁舎管理等 (予算行政管理省)	民	対象業務を①配給、記録、業務機器、印刷、②人事・会計処理、③庁舎等の維持管理、の3つに分類し、それぞれの業務に対し、1社ずつが落札。
旅券発行時のインタビュー、 旅券申請の受領や手数料の徴収(外務省旅券局)	官 (政府企業)	民側の入札参加者には、銀行も。 全国ネットワークを有していることが必要とされた。